

みんなのけんこう

長野県医師会 長野市若里7丁目1番5号 TEL.026-226-3191
<http://www.nagano.med.or.jp/>

vol.68

平成21年12月発行

関節リウマチの
治療は、飛躍的に
進歩しています。

病気とじっくり
向き合っていくことが
大切です。



関節リウマチって、どんな病気なの？

1 炎症と腫瘍の2つの側面を持っています

初期は関節部位を中心に炎症を起こす感染症の性質、中長期では関節や骨の破壊を引き起こす腫瘍の性質を持つ病気です。

3 症状の抑制力は飛躍的に向上しています

病気自体の根本を取り除くことはまだできませんが、新薬の開発により症状の進行をかなり抑制できるようになってきました。

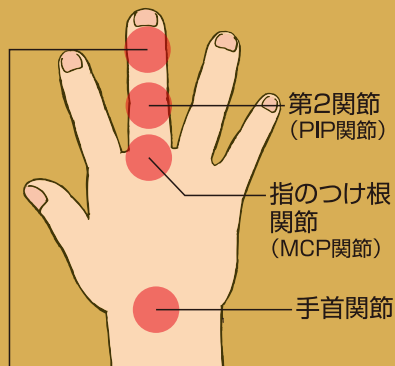
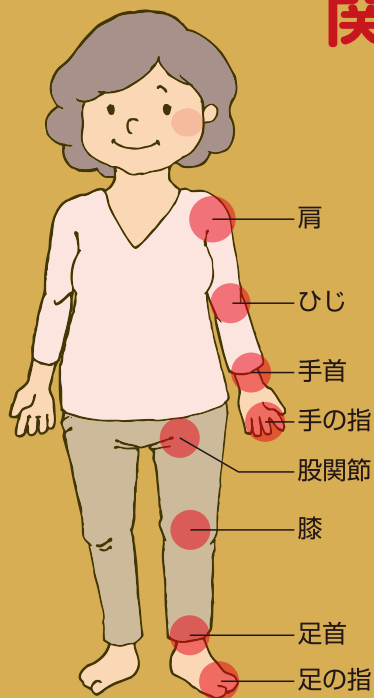
2 症状の個人差が非常に大きい病気です

関節における症状が徐々に悪化する人が多数ですが、症状がほとんど出なくなる人、急速に悪化してしまう人もいる、個人差の大きい病気です。

4 病気とじっくり向き合っていくことが大事

どの薬があうのかは個人によって異なり、薬の効果も全般に遅効性のため、専門医と一緒に、じっくりと病気に向かい合うことが大切です。

こんな症状が現れたら… 関節リウマチかもしれません



第1関節には症状が出にくい

多くは指の第2関節やつけ根の関節に症状が現れることが多いのですが、第1関節に症状が出る場合は少ないので、判断の材料にしてみましょう。

症状は、多くの場合手や足の関節に起こり始めます。分かりやすいのは「早朝の手のこわばり」。この「こわばり」は関節リウマチでない人でも感じるものですが、こわばる時間が徐々に長くなったり、1時間以上続いたりする場合は、一度関節リウマチ専門医の診断を受けてみた方が良いでしょう。手以外にも複数の関節の腫れや痛みも関節リウマチの症状である場合があります。特に左右両方の関節に同じような症状が出やすいということも覚えておいた方が良いでしょう。

症状の3つのパターン

①単周期型

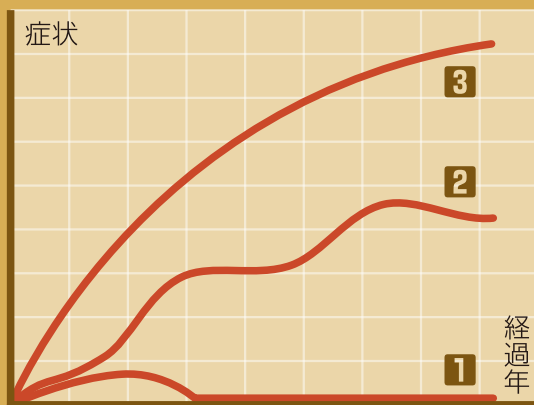
いったんは関節リウマチと診断されても、自然に、または治療によって改善し、ほとんど症状が現れない状態が続きます。

②多周期増悪型

悪化と改善を繰り返しながら、全体としては徐々に症状が進行していきます。関節リウマチの8~9割近くがこのパターンにあたります。

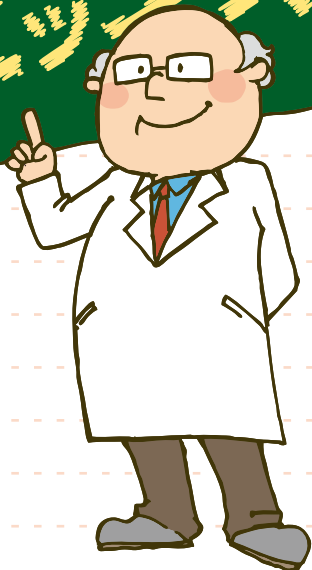
③急速進行型

症状が急速に悪化していきます。このパターンの症例に限り、男女比がほぼ同じという特徴があります。



大きくはこの3つに分類されますが、全てのパターンから改善方向へも悪化方向へも振れる場合があることを覚えておきましょう。

知っておきたい
トピック



関節リウマチ 治療の進歩

不治の病とも言われた関節リウマチ。昔はアスピリンなどで痛みを軽減する程度の対処方法しかありませんでした。1950年代にステロイドが登場しその効果に期待が集まりましたが、強い副作用が大きな問題となってしまいます。その後も関節リウマチ治療に関する様々な研究は続き、1980年代に入ってから、症状の進行速度を抑制することが可能になってきました。そして2003年、バイオテクノロジーを駆使し、生物が産生したタンパク質を利用した生物学的製剤が登場。この生物学的製剤の高い効果が、従来の「関節リウマチ=不治の病」の概念を覆したとされています。

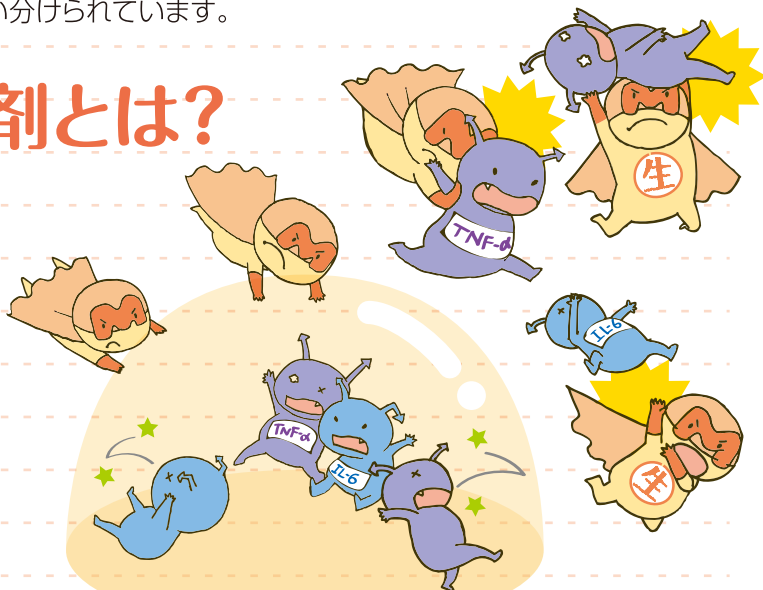
関節リウマチ治療に用いられる薬

- 非ステロイド系消炎鎮痛剤 (NSAIDs) → 炎症による痛みや腫れを抑えます
- 副腎皮質ホルモン (ステロイド薬) → 速やかに炎症を抑えます
- 抗リウマチ薬 (DMARDs) → 免疫の異常にはたらきかけ病状の進行を抑えます
- 生物学的製剤 → 炎症を引き起こす物質の働きを直接抑えます

これらの治療薬が、使用順、時期、組み合わせ、費用面などのいろいろな条件によって使い分けられています。

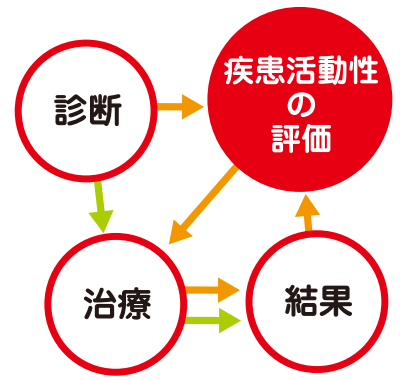
生物学的製剤とは？

生物の中のタンパク質にはサイトカインと呼ばれるものがあります。多種あるサイトカインの中で、関節リウマチに大きく関与しているのがTNF- α やIL-6といったもので、生物学的製剤にはこれらのサイトカインの働きを抑えたり破壊したりする効果があるのです。



関節リウマチ治療とじっくり向かい合うために

関節リウマチは根本治療ができず、薬を継続使用していく必要がありますが、同じ薬を長期使用していくと効果が薄れてきてしまうため、症状や薬の効果の程度をみて薬を変えていくことも必要となります。したがって、「診断」→「治療」→「結果」という一方向の流れではなく、医師による「疾患活動性の評価」を加えた、「診断」→「治療」→「結果」→「疾患活動性の評価」→「治療」→「結果」→というサイクルで、じっくりと病気に向き合うことが、関節リウマチ治療において最も大切なことであるといえます。



関節リウマチ Q & A

Q

日常生活での予防は可能?

A

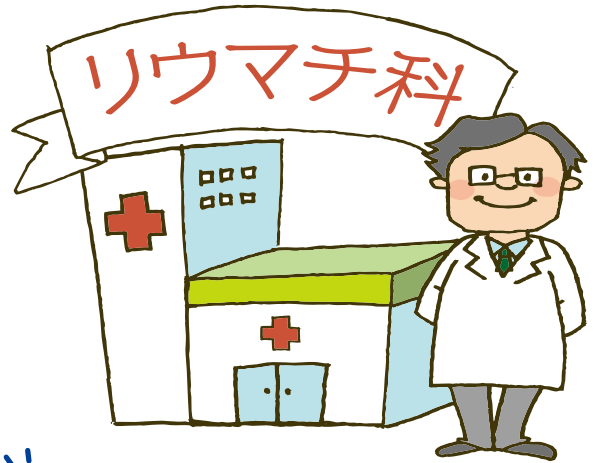
発症のきっかけが、病気や怪我、妊娠や環境の変化によるストレスなどである人が多く、生活習慣病ではないので、日常生活の中での効果的な予防法はないというのが実情です。

Q

発症しやすい性別・年齢は?

A

日本における患者数は、60~70万人といわれており、男女比はおよそ[女性4:男性1]、発症年齢のピークは40代というデータが出ています。また肉親に関節リウマチの発症者がいる人の方が発症率が高いということも知っていた方がいいでしょう。



Q

関節リウマチかも知れないと思ったら、まずどうしたらいいの?

A

早期発見、早期治療に越したことはありません。おかしいなと思ったら、早めにかかりつけの病院や診療所で診察されることをおすすめします。

監修：長野赤十字病院 副院長兼リウマチ科部長 金物 壽久

体に安心

新発売

とろみ調整食品

新 スルーキング

大切なあなたの食事に「愛」を贈ります

きれいに溶けて安心 とろみが早くついて安心 飲み込みやすくて安心

キッセイ薬品工業株式会社 ヘルスケア事業部

〒399-0711 長野県塩尻市片丘9637番地6
TEL0263-54-5010 FAX0263-54-5022
インターネット <http://healthcare.kissei.co.jp/>

- 温かい飲み物でもダメになりにくい溶けやすさです。
- とろみが早くつけられるので入れ過ぎがなくなります。
- ベタツキがなく、飲み込みやすいとろみがつけられます。
- 無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。
- お茶、みそ汁、牛乳等にも手軽にとろみがつけられます。

当社従来品と比べ **10%増量**

2.2kg入り

770g入り

当社従来品と比べ **10%増量**

(2g×2包)×25入り

通信販売受注専用フリーダイヤル **0120-588-117** FAXフリーダイヤル **0120-815-804**

お問い合わせ **0120-588-117**

購入金額10,000円(税込)以上の場合は、送料無料でとなります。
購入金額10,000円(税込)未満の場合は、送料630円が必要となります。

通信販売も実施しております